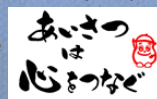


時計台通信



10月

子どもたちに教えられたこと一置かれた場所で咲くー

今年の運動会のスローガンは、「最高の笑顔で仲間と突き進もう」です。運営委員会の子どもたちがしっかり考え、話し合っただけ決めたスローガンです。コロナ禍にあって今年の運動会は規模が縮小されました。運営委員の子どもたちは、たとえ規模が縮小されてもその運動会を友達と一緒に全力で楽しみたい、そして私たち高学年は自分の役割をしっかりと果たして下級生の模範となるのだという、強い願いと決意をこのスローガンに込めているのです。

楽しみにしていた応援合戦がない、組体操ができない、騎馬戦もない・・・不満を言えばきりがないはずですが。それでも、子どもたちは、今年の運動会でできる何かに着目して、こんな素晴らしいスローガンをつくりました。

限られた時間の中ではありますが、どこの学年も運動会の準備と練習が始まりました。七区小学校には、ふれあいホールがあるので、クーラーをつけてそこで練習をする学年が多いです。写真は、5・6年生の子どもたちが、ソーラン節の練習をしているところです。子どもたち全員が真剣でした。一生懸命でした。通して1回踊ると、多くの子どもはへたり込んでしまいます。腰を落として踊るので、足にくるのです。その子どもたちの姿を見て、「あ～っ、最高の笑顔で仲間と突き進むってこういうことか！」とわかったような気がしました。組体操をすとかソーラン節を踊るとか何をするかが大事なわけではなかったのです。それにどう取り組むかを子どもたちは大切にしているのです。全力で練習に取り組む＝全力で楽しんでいるのだと、そんなふうに見えました。運動会に向かう1日1日を子どもたちは「最高の笑顔で仲間と突き進んでいる」のだと感じました。



今年の縮小された運動会は子どもたちにとって如何なものだろうと心配していた自分自身を恥ずかしく思いました。子どもたちの方がよっぽど賢く、何が大切なのかをちゃんと知っていたのです。「ぼくたち私たちは置かれた場所できっちり花を咲かせますよ。」子どもたちはそう言っているようにも思えました。「置かれた場所で咲く」は渡辺和子氏の有名な言葉ですが、それを体現するのに、どうやら年齢は関係ないようです。

10月の行事予定

日	曜	内	容
1	木	水門見学（4年）	
2	金		
3	土		
4	日		
5	月	山の学校（4年）	火曜日時程
6	火	委員会	月曜日時程 下校 1～4年15:10 5・6年16:00【見守り日】
7	水	牛乳パック・ベルマーク回収	たてわり遊び
8	木	牛乳パック・ベルマーク回収	たてわり遊び
9	金	海の学校（5年）	空き缶回収
10	土		
11	日		
12	月	集金日	参観日（北七区・西七区）
13	火	参観日（西紅陽台）	下校 1～3年15:10 4～6年16:00【見守り日】
14	水		
15	木		
16	金	生活科見学（1・2年）	社会科見学（3・4・5年）
17	土		
18	日		
19	月	児童朝会	クラブ
20	火	安全教室	下校 1～3年15:10 4～6年16:00【見守り日】
21	水		
22	木		
23	金		
24	土		
25	日		
26	月		
27	火	下校 1～3年15:10	4～6年16:00【見守り日】
28	水		
29	木		
30	金	Stop コロナ差別	
31	土		

新型コロナは、ワクチンが実用化されていない今、確かに怖い病気です。でもコロナの恐ろしさはそれだけではありません。人々の心に不安を生み、他人に対する思いやりを失わせてしまうという怖さを持っています。始業式の日、子どもたちに、いざという時に仲間を守れる人であってほしいという話をしました。仮に身近な人に感染者がでたとしても、不当な差別をしたり、噂を流したりすることなく、回復後、その人が笑顔で日常生活に戻れるように配慮できる人であってほしいと話しました。病気と向かい合うということは、ある意味、自分の心と向かい合うということなのかもしれません。



（6年 西岡 そら）